

北陸新幹線の整備促進を求める意見書

北陸新幹線は、高速交通体系の中軸として国土の均衡ある発展に不可欠なものであり、沿線地域の飛躍的な発展が期待できるものである。

また、災害時における多重系の輸送体系の確立は、災害に強い強靱な国土づくりに欠かせないものである。

このような観点から、東海道新幹線の代替補完機能を有するとともに、日本海国土軸の形成に必要な不可欠な国家プロジェクトである北陸新幹線に求められる役割がこれまで以上に大きくなっていると考えられる。

しかし、建設中の北陸新幹線は、地方も建設費を負担する国策でありながら、整備計画決定から開業まで、半世紀もの期間を要し、未だに大阪までのルートも明らかにされていない。

一方、リニア中央新幹線について自由民主党は、東京・大阪間の全線同時開業の実現に向け、名古屋・大阪間の建設資金3兆6千億円の負担を政府に求めており、開業を加速する勢いである。

これらのことから、整備新幹線建設に対し、積極的な財政措置を年末の予算編成に確実に反映させることが必要であり、北陸新幹線の若狭ルートフル規格整備を優先して速やかに実現されるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年 6 月 26 日

敦 賀 市 議 会